

(特非) 市民未来共社

里山環境再生プロジェクト

一般助成

2年目

実践



作業終了後に打合せ、次回予定も話し合う

里山環境再生活動
参加者数

351人

里山を巡る
コースの整備

3コース

活動の全体目標に
対する達成度

70%

課題

耕作放棄地(雑草地)や管理されてない林地(間伐、枝打ちなし)を新たな整備で、環境共生型の里山環境を形成しながら、体験活動を豊富化し地域に貢献すること。

活動内容

放置された里山を再生するため、耕作放棄地をモデル農園に、荒れている林地(元は段々畑)を整備(間伐、枝打ち、アクセス路)し、活動拠点としている古民家―農園―山林を一体的な環境体験活動の場所としていくために、3つのコースを整備し、各所にサインを設置して、環境体験活動の基盤をつくった。



林地の間伐跡と斜面の階段
(コースの一部)

今後の課題

里山環境再生の将来の基盤がほぼできたため、環境体験のプログラム化と実施を行いながら、環境体験とグリーンツーリズムを進め、里山トレイルの基地を形成する。

成果と工夫したポイント



成果

民家―農園―林地をつなぐ三つのコースができ、里山再生の基盤ができた。参加者数も増え(年間351人)、グリーンツーリズム(65人)の推進に期待できる。

工夫

参加者数を維持し、次の活動に繋げるために、常に活動の目的と次回の予告をしてきた。